

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO.121 2007.6.13

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル4F 岐阜女子大学 文化情報研究センター内
 日本教育情報学会 運営本部事務局 Tel:058-267-5233 Fax:058-267-5238
 E-mail:nkjg@gijodai.ac.jp http://www.soc.nii.ac.jp/jsei

日本教育情報学会 第23回年会 発表申し込み件数105件 参加申込み受付中（事前参加受付8月10日まで）

いよいよ第23回年会もあと約2ヶ月となり、秒読み段階に入ってきました。実行委員会一同、準備を精一杯進めております。発表される方のみならず、多くの方の参加をお待ち申し上げております。水戸は日本三名園の一つである偕楽園があり、昨年の開催地の岡山県にある後楽園に続いて鑑賞することもできる格好のチャンスでもあります。学会としてのアカデミックな活動だけでなく、是非、茨城県の自然、文化、人間に接していただき、お楽しみいただければ幸いです。

なお、今回、多数の方にご協力をいただきましたことに深く感謝いたします。多くの研究発表のお申込みありがとうございました。

次は論文と参加お申込みです。次の要項をご確認の上、期限内に手続きくださいますようお願いいたします。多数のご参加をこころよりお待ちしております。

期 日：2007年8月20日（月）・21日（火）

主 催：日本教育情報学会

後 援：茨城県教育委員会（手続き中）、水戸市教育委員会（手続き中）

会 場：常磐大学

所在地 〒310-8585 茨城県水戸市見和1-430-1（029-232-2511 代表）

交 通 J R常磐線「水戸駅」北口5番バス乗り場から自由ヶ丘下車（所要時間約20分）

案内図：http://www.tokiwa.ac.jp/info/frame_a.html

8月20日（月）	
9:30～	受付
10:30～12:00	基調講演「教育改革のゆくえ」 布村幸彦審議官（文部科学省）
12:00～13:00	昼食・休憩 理事会・評議員会
13:00～14:00	総会・学会賞表彰式
14:00～15:30	パネル討論 「今、学校で必要な教育情報とは」
15:30～17:30	課題2：カリキュラムと資格取得
	一般：教員研修・教師支援・FD
	一般：デジタルアーカイブ
	一般：eラーニング
	一般：教科学習におけるICT活用
18:00～20:00	懇親会

8月21日（火）	
9:30～	受付
10:00～12:00	課題3：特別支援教育（1）
	課題4：教育効果の測定と評価（1）
	課題1：テクノロジーと教育方法
	一般：調査分析評価とシステム開発（1）
	一般：大学・短大におけるICT活用
12:00～13:00	昼食・休憩
13:00～15:00	課題3：特別支援教育（2）
	課題4：教育効果の測定と評価（2）
	課題5：情報モラル
	一般：調査分析評価とシステム開発（2）
	一般：小中学校の情報教育
15:00～17:00	一般：Webサイト構築・教材開発
	一般：共同学習・交流学習
	一般：高校教科情報
	研究会1：（予備）
	研究会2：（予備）

***** 日本教育情報学会第23回年会 発表会場のご案内 *****

日付	時間	A会場 R001 教室	B会場 R002 教室	C会場 R003 教室	D会場 R004 教室	E会場 R101 教室
20日(月)	15:30~17:30	課題研究2	一般研究1	一般研究2	一般研究3	一般研究4
21日(火)	10:00~12:00	課題研究3	課題研究4	課題研究1	一般研究5	一般研究6
	13:00~15:00			課題研究5	一般研究7	一般研究8
	15:00~17:00	一般研究9	一般研究10	一般研究11	研究会(予備)	研究会(予備)

8月20日(月)

15:30~17:30【セッション1】

課題研究2	カリキュラムと資格取得	A会場(R001教室)
一般研究1	教員研修・教師支援・FD	B会場(R002教室)
一般研究2	デジタルアーカイブ	C会場(R003教室)
一般研究3	eラーニング	D会場(R004教室)
一般研究4	教科学習におけるICT活用	E会場(R101教室)

8月21日(火)

10:00~12:00【セッション2】

課題研究3	特別支援教育(1)	A会場(R001教室)
課題研究4	教育効果の測定と評価(1)	B会場(R002教室)
課題研究1	テクノロジーと教育方法	C会場(R003教室)
一般研究5	調査分析評価とシステム開発(1)	D会場(R004教室)
一般研究6	大学・短大におけるICT活用	E会場(R101教室)

13:00~15:00【セッション3】

課題研究3	特別支援教育(2)	A会場(R001教室)
課題研究4	教育効果の測定と評価(2)	B会場(R002教室)
課題研究5	情報モラル	C会場(R003教室)
一般研究7	調査分析評価とシステム開発(2)	D会場(R004教室)
一般研究8	小中学校の情報教育	E会場(R101教室)

15:00~17:00【セッション4】

一般研究9	Webサイト構築・教材開発	A会場(R001教室)
一般研究10	共同学習・交流学习	B会場(R002教室)
一般研究11	高校教科情報	C会場(R003教室)
研究会1	(予備)	D会場(R004教室)
研究会2	(予備)	E会場(R101教室)

年会テーマ：「教育改革と教育情報」

基調講演

教育改革のゆくえ

布村幸彦（文部科学省大臣官房審議官）

[趣旨]

21世紀も6年が過ぎ、昨年より安倍内閣のもとで、教育改革が進められている。好ましい教育制度、教育内容、教育方法について中央教育審議会や教育再生会議で精力的に検討を進められているが、変化や議論も多く、その方向性や内容については把握しにくい状況である。基調講演では改革に直接かかわっておられる布村先生に教育改革の考え方や方向性にお話しいただく予定です。昨年後半に表面化した必修科目の高校教科「情報」の未履修もあり、情報モラル教育、個人情報保護、情報教育の教員養成や現職教育、基本情報処理やシステムアドミニストレータやデジタル・アーキビストなどの資格に関わる教育など、学会のかかわる分野と無関係ではあり得ない。教育情報や情報教育に携わる教員及び研究者一人ひとりが教育改革をどのようにとらえ、どのようにかかわっていくのか、行動していけばよいのかを考える機会になればと願っている。

パネル討論 今、学校に必要な教育情報とは

[コーディネータ] 堀田龍也（独立行政法人メディア教育開発センター）

[パネリスト]

- | | |
|--------------------------|------------------|
| (1) 宇治橋祐之（日本放送協会） | 学習用コンテンツ制作の立場から |
| (2) 高田浩二（マリンワールド海の中道） | 社会教育の立場から |
| (3) 水嶋英治（常磐大学コミュニティ振興学部） | デジタルアーカイブ促進の立場から |

[コメンテータ] 有蘭 格（星槎大学共生科学部）

[趣旨]

文科省は今後、教員1人1台PCを進めていく方向であり、全教室PC、超高速回線の整備も進められていく。それを活用した学習活動を展開するためには、授業での学習情報の充実が欠かせない。そのような学習環境でのアーカイブの仕方、活用法の立場から、コンテンツ制作に係わっている立場から内容や既存のコンテンツを具体的にご紹介いただく。また、最近資格として人材育成にも取り組まれている視点を含めて、デジタルアーカイブ促進についてご紹介いただく。参加者全員にとって役立つ情報を得ながら、21世紀の「教育情報とその流通」の在り方について考えたい。

課題研究

課題 1 教育で使えるテクノロジーと教育方法

コーディネータ 井口磯夫 (十文字女子大)
21日 (火) 10:00~ 12:00 R003会場

社会や家庭ではブロードバンドのインターネットが当たり前になってきた。ユビキタス学習社会の実現に向かって、情報インフラが整いつつある中で様々な課題も表出されている。携帯端末を使った授業アンケートや、学習反応分析を授業に生かす教育方法も実践されている。e - 黒板や e - 教科書を使った授業は従来の授業に比べてどのような教育的効果があるのだろうか。e - Learning はかつての CAI を凌ぐ効果を挙げているのだろうか。これらの課題に対する実践報告を期待したい。

課題 2 情報関係のカリキュラムと資格取得

~ 現在の情報教育は情報社会のニーズにどの程度対応しているか ~

コーディネータ 久世 均 (岐阜女子大)
20日 (月) 15:30~ 17:30 R001会場

即戦力の人材を養成して欲しい企業側と、人的、時間的リソース、制度上の問題などから基礎的な教育を指向する教育機関側の意識の食い違いが両者のミスマッチを拡大させている。このようなミスマッチ解消に向けて、継続的な教育の実施と知識やスキルを定量化し可視化するための資格試験制度や更新制度の導入、企業と教育機関の連携のあり方と行政の支援のあり方について検討することが課題となっている。このような情報関係の資格試験とその養成カリキュラムの概要と実施状況について議論し、今後の情報社会のニーズに対応した情報教育の方向性を考える。

課題 3 情報技術による教育のユニバーサル化~ 特別支援教育の向上を目指して~

コーディネータ 太田容次 (国立特別支援教育総合研究所)
21日 (火) 10:00~ 15:00 R001会場

このセッションでは、昨年 12 月に国連総会において採択された「障害者権利条約」で述べられているように、支援技術 (AT) 等の活用により、障害のある人の活動や参加を支援するための教育が求められている。このような状況において、様々な特別な教育的ニーズのある子どもの教育に対応した教材や教具、教育方法等教育のユニバーサル化をどのようにすればよいかを提案し議論する。

課題 4 教育効果の測定と評価の方法

コーディネータ 林 徳治 (山口大学)
21日 (火) 10:00~ 15:00 R002会場

教育工学的 (Plan-Do-Check-Action) なアプローチにより研究を行う際に仮説を実証する手法は、母集団を対象として統計による数量的な分析や個を重視した質的なアプローチがある。本セッションでは、教育情報を扱う事例研究において、その成果を測定する評価内容や方法について扱う。そこでは、総括的評価やポートフォリオなど形成的評価、タキソノミーなど情意領域における評価内容や方法についても議論を深めたい。

課題 5 情報モラル・著作権等

コーディネータ 坂井知志 (常磐大学)
21日 (火) 13:00~ 15:00 R003会場

教材開発、データベース、学校行事など全ての教育活動が著作権や肖像権、個人情報保護などを遵守しなければならない。情報モラルを生徒にどのように教えていくかについての実践や教員自らの教育活動が情報モラルをどのようにして遵守しているのかについて様々な提案をしていただくとともにそのことが教育上望ましいことかについても議論する。また、情報モラルについての学会調査の結果について報告をしていただく。

発表一覧 日程・会場順

申込みを受付けている発表（講演者・題目）は、以下の通りです。

本リストは案で、発表者の追加・キャンセルなどでセッション・発表順などが多少変更になることがございます。最終プログラムは次号 Newsletter でお知らせいたします。

（課題研究2）カリキュラムと資格取得 20日（月） 15:30～17:30 A会場（R001教室）

- 1 A 1 短期大学におけるシスアド養成を目指したカリキュラム
片岡久明（南九州短期大学）、
- 1 A 2 デジタルアーキビスト養成における e-learning カリキュラムの開発とその実践報告
橋詰恵雄（岐阜女子大学）、谷口知司・久世均・林知代（岐阜女子大学）
- 1 A 3 デジタル・アーキビスト養成コースの設置について
片岡英己（奈良産業大学）、廣田英樹（奈良産業大学）
- 1 A 4 「教育メディア研修カリキュラムの標準」の作成に関する研究
吉田広毅（常葉学園大学）
- 1 A 5 NTTCommunications インターネット検定.comMaterを中心としたビジネススキームについて
西部喜康（NTTコミュニケーションズ）
- 1 A 6 国家試験が一部免除になる『あいちIT人材育成特区』に対応したカリキュラムへの取り組み
川田博美（名古屋女子大学短期大学部）、森屋裕治、武岡さおり（名古屋女子大学短期大学部）鷲野友美（名古屋女子大学）

（一般研究1）教員研修・教師支援 FD 20日（月） 15:30～17:30 B会場（R002教室）

- 1 B 1 長崎県の e-Learning 研修の現状分析
本多博（長崎県教育センター）丹下泰範、田口康博、高橋浩一、寺井裕次郎（長崎県教育センター）、堀田龍也（メディア教育開発センター）
- 1 B 2 模擬授業を取り入れたメディアとのつきあい方学習ワークショップモデルの開発
高橋伸明（岡山県総合教育センター）堀田龍也（メディア教育開発センター）
- 1 B 3 政令指定都市の教員の ICT 活用指導力に関する研修の実態調査
宮崎靖（富山大学大学院生）高橋純（富山大学）堀田龍也（メディア教育開発センター）
- 1 B 4 思考支援型 ICT 活用授業の設計力育成を目的とする教員研修プログラム「Intel® Teach」の実施と評価
林向達（椋山女学園大学）柳原なほ子（インテル㈱）堀田龍也（メディア教育開発センター）

（一般研究2）デジタルアーカイブ 20日（月） 15:30～17:30 C会場（R003教室）

- 1 C 1 デジタル・アーカイブを用いた教材開発における課題解決の実践報告
三宅茜巳（岐阜女子大学）林知代（岐阜女子大学）
- 1 C 2 学習成果のデジタル・アーカイブ化と活用に関する研究（1）～アーカイブ化における可能性と課題～
谷口由美子（京都市立芸術大学）横田 学（京都市立芸術大学）
- 1 C 3 学習成果のデジタル・アーカイブ化と活用に関する研究（2）～アーカイブ活用のためのシステム開発に向けて～
横田学（京都市立芸術大学）谷口 由美子（京都市立芸術大学）
- 1 C 4 歴史系博物館展示を効果的な学習財とするための提示手法の研究
小川雅弘（浜松市立瑞穂小学校）堀田龍也（メディア教育開発センター）

- 1 C 5 R F I Dを活用したデジタルアーカイブ
坂本洋代(岐阜女子大学大学院)
- 1 C 6 国立女性教育会館女性アーカイブ構築に関する調査研究
安達一寿(十文字学園女子大学) 青木玲子(埼玉県男女共同参画推進センター)、尼川洋子(国立女性教育会館)、多仁照廣(敦賀短期大学)、藤林泰(埼玉大学)、矢口悦子(東洋大学)
- 1 C 7 文化財・地域文化等のデジタル・アーキビスト用教材の整備
持田諒(岐阜女子大学) 三宅茜巳(岐阜女子大学)

(一般研究3) eラーニング 20日(月) 15:30~17:30 D会場(R004教室)

- 1 D 1 WEB上で動くチュートリアルCAIの開発と実践
木下昭一(成徳大学)
- 1 D 2 大学の一般教養科目における知識創造をめざしたブレンディッド型e-Learningの実践
神月紀輔(滋賀大学) 宮田 仁(滋賀大学)
- 1 D 3 公立学校で無料で使えるe-L倶楽部の考え方と展開
堀口秀嗣(常磐大学) 井口磯夫、安達一寿(十文字学園女子大学) 荒義明(藤沢市立善行小学校) 小林裕光(埼玉県立大宮中央高校) 前田真人(電子開発学園) 本郷健(大妻女子大)
- 1 D 4 e-L倶楽部Ver.2と教材作成ソフト「e-L倶楽部メーカー」の改善点
荒義明(藤沢市立善行小学校) 堀口秀嗣(常磐大学)、前田真人(電子開発学園)、小林裕光(埼玉県立大宮中央高校)、安達一寿(十文字学園女子大学)

(一般研究4) 教科学習におけるIT活用 20日(月) 15:30~17:30 E会場(R101教室)

- 1 E 1 児童の習熟度や学習スキルに応じた学校放送番組の活用タイミングと効果
宮本朋典(浜松市立和田東小学校) 木原俊行(大阪教育大学) 堀田龍也(メディア教育開発センター)
- 1 E 2 図画工作科での危険な道具の指導におけるICT活用の類型化
松橋尚子(世田谷区立砧小学校) 堀田龍也(メディア教育開発センター)
- 1 E 3 南中実践を通じた体感観測と創造性の開発()
久世均(岐阜女子大学) 佐藤正明(岐阜県立峡山高校) 林知代(岐阜女子大学)、松野光暢(地域資料情報化コンソーシアム)
- 1 E 4 デジタル資料集「ふるさと守山」を活用した中学校社会科の授業実践とその考察
奥村信夫(守山市立守山中学校) 宮田仁(滋賀大学)
- 1 E 5 eラーニングを利用した音楽教育における鑑賞の指導 学習記録から見える通信制高校の音楽での実践
小林裕光(埼玉県立大宮中央高校) 西本優希(埼玉県立大宮中央高校)
- 1 E 6 情報技術を利用した実践的英語教育の提案
高原尚志(新潟県立新潟女子短期大学) 茅野潤一郎(新潟県立新潟女子短期大学)
- 1 E 7 地域メディアを活用したプロジェクト型学習の実践
前川道博(長野大学)
- 1 E 8 確かな学力を身につけさせる小中連携教育の実践
霜川正幸(山口大学)

(課題研究3) 特別支援教育(1) 21日(火) 10:00~12:00 A会場(R001教室)

- 2 A 1 ブレンディッド型研修による教員研修に関する研究
太田容次(国立特別支援教育総合研究所)、渡邊正裕(国立特別支援教育総合研究所)

- 2 A 2 教育用 ICF データベース e-ANGEL の ICF-CY への対応とインターネットでの公開について
渡邊正裕（国立特別支援教育総合研究所）、富山比呂志（茨城県立つくば養護学校）、齊藤博之（山形県立上山高等養護学校）、大久保直子（筑波大学附属久里浜特別支援学校）、下尾直子（日本女子大学大学院）、徳永亜希雄（国立特別支援教育総合研究所）
- 2 A 3 特別支援教育担当者をつなぐ Web サーバーの運用
高市幸造（愛媛大学附属特別支援学校）、太田容次（国立特別支援教育総合研究所）
- 2 A 4 特別支援教育に関する関係機関の ICT による連携の開発と実用化
木村政秀（滋賀大学）、石部和人、大杉成喜、田中勝彦、辻野賢治、西堀二郎、三川剛一（滋賀大学附属特別支援学校）、太田容次（国立特別支援教育総合研究所）、宮田仁、黒田吉孝（滋賀大学）
- 2 A 5 特別支援教育における情報モラル教材の開発と評価
石部和人（滋賀大学）、木村政秀、大杉成喜、西堀二郎、三川剛一、田中勝彦、辻野賢治（滋賀大学附属特別支援学校）、太田容次（国立特別支援教育総合研究所）、宮田仁、黒田吉孝（滋賀大学）
- 2 A 6 日本語 PC-VOCA の活用におけるログフォーマットの開発と分析
大杉成喜（滋賀大学）、

(課題研究 4) 教育効果の測定と評価(1) 21日(火) 10:00~12:00 B会場(R002 教室)

- 2 B 1 高等学校数学教育に関する日中比較調査研究－中国貴州省貴陽市を対象として－
北村光一（山口大学）、林徳治（山口大学）
- 2 B 2 中国における情報化に対応した中学校での学習者主体学習に関する実証研究
付??（山口大学大学院）、林徳治（山口大学）
- 2 B 3 R O S E 学習法によるルーブリックを活用した参画型授業モデルの開発に関する実証研究
武田正則（山形県立東根工業高校）、林徳治（山口大学）
- 2 B 4 大学における F D (Faculty Development) の義務化とその効果検証の方向性について
沖裕貴（立命館大学）、林徳治（山口大学）、井上史子（スラタニラチャパット大学）
- 2 B 5 対面講義と e-Learning を併用した講義での学生動向
北川文夫（岡山理科大学）、大西荘一（岡山理科大学）
- 2 B 6 校長・教頭等学校管理職を対象とした教員間の相互理解を深めるコミュニケーション能力開発のための教員研修プログラムの開発・評価
井上史子（スラタニラチャパット大学）、

(課題研究 1) テクノロジーと教育方法 21日(火) 10:00~12:00 C会場(R003 教室)

- 2 C 1 「携帯電話用インタラクティブ型 Flash ソフト」の学習への活用
坂井岳志（世田谷区立八幡小学校）、岩下幸広（杉並区立和田小学校）、鳥羽純（世田谷区立東大原小学校）、高橋康（足立区立西新井中学校）
- 2 C 2 携帯電話を活用し月観察支援システムの開発と評価
宮田仁（滋賀大学）、鈴木真理子（滋賀大学）、赤松辰彦（近畿大学）、深堀康子（摂津市立第一中学校）
- 2 C 3 小中学校への普及を目指した e ラーニングに関する実践研究
安達一寿（十文字学園女子大学）、山川博（所沢市立教育センター）、堀口秀嗣（常磐大学）、井口磯夫（十文字学園女子大学）、生田晃三（所沢市立教育センター）、荒義明（藤沢市立善行小学校）、小林裕光（埼玉県立大宮中央高校）、前田真人（電子開発学園）、金井晶子、宮原礼典、河角哲也、新井祐紀、岩本康生、近藤和夫（所沢市教員）
- 2 C 4 ブレンディッドラーニングでの学習者状態情報の分析に関する研究
北原俊一（十文字学園女子大学）、安達一寿、新行内康慈、中尾茂子、嶋田朋子

(十文字学園女子大学)

- 2 C 5 IWBとLAN導入でここまで出来る教員のITリテラシー向上と授業変革
藤井邦彦(実践学園中学・高等学校),
- 2 C 6 英国におけるIWBの教育効果とその実態
John Collick(International Education Manager, Promethean Limited (UK)),

(一般研究5) 調査分析評価とシステム開発(1) 21日(火) 10:00~12:00 D会場(R004教室)

- 2 D 1 校務管理用各種システムの開発とその活用
坂口隆康(三木市立緑が丘小学校)
- 2 D 2 情報教育における記号理論学の学習過程とその実践
工藤雄司(筑波大学附属坂戸高校)本村猛能(川村学園女子大学)
- 2 D 3 学習ニーズの変化と知識量の向上
和田武(愛媛大学)南本長穂(関西学院大学)
- 2 D 4 中学校における自主性を伸ばす教育方法の開発(6)
藤本光司(宝塚市立長尾中学校)沖裕貴(立命館大学教授)、井上史子(ラチャパット大学)、林徳治(山口大学)
- 2 D 5 社会が必要とする新しい観点に立った“ものづくり”の教育の検討(2)
安藤久夫(岐阜女子大学)加藤直樹、吉田昌春(岐阜大学)
- 2 D 6 ICTを活用した学習指導の効果を現場教員が測定する支援キットの開発
高橋純(富山大学)堀田龍也(メディア教育開発センター)山西潤一(富山大学)
- 2 D 7 アクティブICTタグを利用した学校の安全確保の試み-「児童生徒見守りシステム」による親子関係の変容-
石川久美子(大阪市立大学大学院生)佐々木真理(京都教育大学)、中野潔(大阪市立大学)

(一般研究6) 大学・短大におけるIT活用 21日(火) 10:00~12:00 E会場(R101教室)

- 2 E 1 韓国の大学における情報教育の実態調査
小川勤(山口大学)
- 2 E 2 大学における情報教育のあり方
宮内美智子(東京医療保健大学)
- 2 E 3 評価理論の変遷過程を踏まえた体系的な情報教育の方向性
本村猛能(川村学園女子大学)工藤雄司(筑波大学附属坂戸高校)、角和博(佐賀大学)、森山潤(兵庫教育大学)、内桶誠二(流通経済大学)、山本利一(埼玉大学)
- 2 E 4 中国人留学生に対する漢字変換機能を活用した日本語学習法の開発
及川浩和(岐阜大学大学院生)
- 2 E 5 大学での情報基礎教育の展開に関する一考察-高等学校における科目「情報」の展開を勘案して-
梅村匡史(札幌国際大学)
- 2 E 6 大学における授業方法の工夫
坂本徳弥(椋山女学園大学)

(課題研究3) 特別支援教育(2) 21日(火) 13:00~15:00 A会場(R001教室)

- 3 A 1 コミュニケーション指導における支援機器を活用した指導の実践
金森克浩(東京都立多摩養護学校)、越一恵(東京都立光明養護学校)
- 3 A 2 特別支援教育における漢字ゲームによる作文指導
佐原恒一郎(千葉県立袖ヶ浦特別支援学校),

(課題研究4) 教育効果の測定と評価(2) 21日(火) 13:00~15:00 B会場(R002教室)

- 3B1 現職教育におけるプロジェクト法の開発
服部晃(岐阜女子大学),今津孝次郎(名古屋大学大学院)、滝村一彦(岐阜県教育委員会)
- 3B2 情報リテラシー教育におけるルーブリック評価を用いた客観的評価の研究
小川勤(山口大学),
- 3B3 教員のコミュニケーション能力の向上を目指したトレーニングモデルの提案(1)
赤松辰彦(近畿大学),林徳治(山口大学)
- 3B4 教員のコミュニケーション能力の向上を目指したトレーニングモデルの提案(2)
林徳治(山口大学),赤松辰彦(近畿大学)
- 3B5 教職スタート科目としての教職概論
霜川正幸(山口大学),村上清文、岸本憲一良、佐々木司、鷹岡亮(山口大学)
- 3B6 コメントカードとテキストマイニング
奥野雅和(京都文教中学校),

(課題研究5) 情報モラル 21日(火) 13:00~15:00 C会場(R003教室)

- 3C1 実践的態度の育成を目指した情報モラル教育に関する実証研究(2)
林泰子(頌栄人間福祉専門学校),藤本光司(宝塚市立長尾中学校)北川敬一(大阪府立高槻北高校)
- 3C2 学校におけるプライバシー,個人情報等の現状に関する調査
横山隆光(羽島市立羽島中学校),佐藤正明(岐阜県立岐山高校)、安井 智恵(岐阜女子大学)
- 3C3 常磐大学著作権等委員会の取り組み
工藤典人(常磐大学),坂井知志(常磐大学)

(一般研究7) 調査分析評価とシステム開発(2) 21日(火) 13:00~15:00 D会場(R003教室)

- 3D1 AIMS-Gifuの教育改善に関する調査分析(1)
興戸律子(岐阜大学)加藤直樹、村瀬康一郎(岐阜大学)
- 3D2 AIMS-Gifuを活用した授業方法の開発と評価(4)
加藤直樹(岐阜大学)村瀬康一郎・興戸律子(岐阜大学)
- 3D3 携帯電話を利用した教員連絡常時システムの要件と運用
中川斉史(徳島県三好教育ネットワークセンター)堀田龍也(メディア教育開発センター)、竹内勉、山本和人(Sky(株))
- 3D4 視聴環境と視聴感度の関連について
林川基治(山口大学)
- 3D5 無線LAN通信機能を搭載した携帯電話を活用した水族館学習システムの開発
石塚丈晴(静岡大学)堀田龍也(メディア教育開発センター)高田浩二(海の中道海洋生態科学館)森谷和浩・前田喜和(チエル(株))
- 3D6 学齢期前半までのメディア接触における保護者の役割に関するeラーニングサイトの開発
堀田博史(園田学園女子大学)堀田龍也(メディア教育開発センター)石塚丈晴(静岡大学)高橋純(富山大学)
- 3D7 教員に役立つWeb上に存在する情報の所在を配信するシステムの開発と評価
和田真理(内田洋行教育総合研究所)堀田龍也、石塚丈晴(メディア教育開発センター)畠田浩史、青木栄太、伊藤博康、杉山知之((株)内田洋行)

(一般研究 8) 小中学校の情報教育**21日(火) 13:00~15:00 E会場(R101教室)**

-
- 3 E 1 中学校における自主性を伸ばす教育方法の開発(5)
井上史子(スラタニラチャパット大学) 沖裕貴(立命館大学) 林徳治(山口大学)、
藤本光司(宝塚市長尾中学校)
- 3 E 2 聴く姿勢や態度の一色高揚を図るオーディエンス教育の実践
黒川マキ(大阪学院大学) 林徳治(山口大学)
- 3 E 3 生活の中のメディアとしてのテレビについて児童に教えるための指導内容の検討
吉野和美(富士市立田子浦小学校) 堀田龍也(メディア教育開発センター)
- 3 E 4 情報活用スキルを身に付けさせるための図書館教育整備状況の調査
塩谷京子(静岡市立森下小学校) 堀田龍也(メディア教育開発センター)
- 3 E 5 感情の伝達に関するメディア比較:返信に焦点を当てた分析
加藤尚吾(早稲田大学人間科学学術院) 加藤由樹(東京福祉大学)
- 3 E 6 情報の教諭を目指す学生を対象にしたネットいじめに関する意識調査
加藤由樹(東京福祉大学) 加藤尚吾(早稲田大学) 竹内俊彦(茨城大学)
- 3 E 7 Web2.0的な課題評価の提案と実践
竹内俊彦(茨城大学) 加藤由樹(東京福祉大学) 加藤尚吾(早稲田大学)

(一般研究 9) Webサイト構築・教材開発**21日(火) 15:00~17:00 A会場(R001教室)**

-
- 4 A 1 日本語スピード入力検定用のWeb教材の試作
武岡さおり(名古屋女子大学短期大学) 橋本信也(中部大学大学院生) 小山幸治
(名古屋女子大学短期大学部) 岡崎 正弘(中部大学)
- 4 A 2 授業に用いるWebサーバの効率的な管理運用について
榊原伸康(中部大学大学院) 岡崎正弘(中部大学) 小山幸治(名古屋女子大学短
期大学部) 安達義則(中部大学)
- 4 A 3 能力別クラス編成機能を用いたWeb教材の開発
橋本信也(中部大学大学院生)
- 4 A 4 学習成果を発信するための学校Webサイト構築の全校体制
笹原克彦(富山市立山室中部小学校) 高橋純(富山大学) 堀田龍也(メディア教育
開発センター)
- 4 A 5 参加型地域教材ウェブサイトにおけるコンテンツの共同作成に関する研究
小山万作(世田谷区立深沢小学校) 佐々木康雄(世田谷区立駒繫小学校) 秋田敏文
(世田谷区立弦巻小学校) 片桐賢二(世田谷区立若林小学校) 久泉幸正(世田谷区立
東深沢小学校) 松本正尊(世田谷区立花見堂小学校) 成田智代(世田谷区立東玉川小
学校) 高橋康(江東区立大島西中学校) 富永哲男(鳩ヶ谷市立辻小学校)
- 4 A 6 多視点同時撮影記録を用いた教材作成について
林知代(岐阜女子大学) 久田由莉、後藤忠彦、田口機子、松野光暢、久世均(岐阜
女子大学)

(一般研究 10) 共同学習・交流学习**21日(火) 15:00~17:00 B会場(R002教室)**

-
- 4 B 1 中学校技術科ロボット制作における情報共有システムの活用と共同学習の効果
川俣純(つくば市立谷田部東中学校) 山口治(阿見町立朝日中学校) 松村浩幸
(三重大学) 高崎満(つくば市立高崎中学校) 中村雅俊(つくば市立筑波東中
学校) 吉田吉美(つくば市立手代木中学校)
- 4 B 2 小学校間交流学习の支援と学生のICT活用能力の育成
成瀬喜則(富山商船高等専門学校) 長山昌子(富山商船高等専門学校) 宮地功
(岡山理科大学)

- 4 B 3 「共同性」を高めるビデオ・コミュニケーションによる遠隔協同学習
佐々木真理（京都教育大学）ナッチャ・パワサッチャナン（兵庫県立大学院生）、
山田公成（京都教育大学附属高校）
- 4 B 4 LMS「MOMOTARO」における管理の効率化
山本敏弘（岡山理科大学大学院生）大西荘一（岡山理科大学）、榊原道夫（岡山理
科大学）、河野敏行（岡山理科大学）、荒川智昭（岡山理科大学大学院）
- 4 B 5 国際交流サイトを活用した交流学习における学習効果の検討
成田健之介（日英国際交流学习研究会・代表）Heidi POTTER(Japan21・Executive
Director)、堀田龍也（メディア教育開発センター）
- 4 B 6 台湾の日本語学科学生を対象とした日本語教育の実証研究
郭淑齡（山口大学）林徳治（山口大学）
- 4 B 7 The status and issue of Nicaragua's education (1)
Jader Antonio Rodriguez Watler（山口大学）林徳治（山口大学）
- 4 B 8 ユネスコ協同学校計画「国際理解と国際協力のための教育」における教育実験についての
考察
高田準一郎（岐阜聖徳学園大学）

（一般研究 11）高校教科情報

21日（火） 15:00～17:00 C会場（R001教室）

-
- 4 C 1 高校における情報教育の現状分析と幼児教育への展開
塚田慶一（東京成徳短期大学）増澤文徳（東京成徳大学中学・高等学校）
- 4 C 2 茨城 ICTE の取り組み
垣花京子（筑波学院大学）
- 4 C 3 茨城県情報教育高校教科情報のアンケート結果
渡辺英一（茨城県立東海高校）
- 4 C 4 関東（元若手情報教員ネットワーク ドット関東）の活動報告～若手の集まりから始ま
った草の根活動
佐々木優子（茨城県立石岡第二高校）
- 4 C 5 高校教科情報の実践事例
塩野雅代（茨城県立並木高校）

21日（火） 15:00～17:00 D会場、E会場は希望する研究会に割り当てる予定です。
希望される研究会の幹事の方は早めに事務局までメールでご連絡ください。

発表者の方へ

発表申込者には、発表の可否を連絡しています。申し込みをされた方で可否通知が届いていな
い場合は、申し訳ありませんが実行委員会までご連絡下さい。

発表を可とされた申込者に対しては、論文の執筆要項をお送りしています。

論文の原稿枚数は一般研究については2枚とし、課題研究については2枚または4枚とします。
原稿は「年会論文集」の版下の形で、ワープロ出力したものを提出していただきます。

【論文提出締切 2007年7月10日（火）】

参加申込方法

同封の郵便振替用紙が申込書を兼ねます。必要項目を記入し、郵便局の窓口またはATM、APMで手続きください。手数料は1万円まで100円(ATM・APMご利用は60円)になります。同封の郵便振替用紙を紛失した場合、または追加用紙が必要な場合は、郵便局備付けの用紙をご利用ください。

なお、期日を過ぎた場合は、当日会場受付でお支払いください。その場合、参加費は当日扱いとなります。

参加申込締切(郵便局窓口期限) 2007年8月10日(金)

郵便振替口座番号 00110-1-670226

口座名 日本教育情報学会第23回年会

(学会本部事務局の口座とは異なりますので、ご注意ください)

参加費

- ・会員事前申込締切日まで 参加費3,000円 論文集3,000円 懇親会費5,000円
 - ・会員(当日)・非会員 参加費4,000円 論文集3,000円 懇親会費5,000円
- 論文集は、年会当日受付にてお渡しいたします

後援関係の方

茨城県教育委員会、水戸市教育委員会、茨城県にお勤めの現職教員の方の参加を歓迎します。この方の参加費は無料とします。(論文集代は申し受けます)

当日、会場内の「年会参加証引替受付」にお越しください。

なお、茨城県及び隣接県における教育情報活用にかかわる研究会には非会員で参加を希望される方に年会参加証をお送りしますので、年会実行委員会までお問い合わせください。

論文集の郵送申込について(年会に参加されない方)

年会に参加されないで論文集を購入希望の方は、参加申込書の該当欄にご記入の上、申込をしてください。年会終了後論文集を送付いたします。

論文集 3,500円(郵送費、事務諸経費を含む)

宿泊について

- ・宿泊に関しましては、各自で手配いただきますよう、お願い申し上げます。
- ・ホテルステノ、ホテルシーズンに宿泊の場合は常磐大学までの送迎をしていただける予定なので、ホテルのフロントにて日本教育情報学会の関係者と伝えて下さい。
- ・ホテル情報はこちらをご覧ください。

ホテルステノ <http://steno.jp/>

ホテルシーズン <http://www.hotel-season.com/>

問合せ先

〒310-8585 茨城県水戸市見和1-430-1 Tel:029-232-2940
常磐大学 国際学部・堀口研究室内
日本教育情報学会第23回年会実行委員会
実行委員長 堀口秀嗣(E-mail:horiguti@tokiwa.ac.jp)